

岩手県北部のスズタケはどこに残っている？

令和3年度地域政策研究センター 地域協働研究【ステージ I】採択課題

課題名：岩手県北部における鳥越竹細工用スズタケ残存箇所への効率的な把握

研究代表者：総合政策学部 島田直明

課題提案者：県北広域振興局農政部二戸農林振興センター林務室

技術キーワード：スズタケ、鳥越竹細工、岩手県北部

▼背景・目的

スズタケは一戸町で伝統工芸である鳥越竹細工の原材料として利用されている。岩手県北地域では2016年頃から一斉開花・集団枯損し一戸周辺では壊滅的な資源量の減少となった（写真1）。

そこで、本研究では生育地予測モデルおよび潜在生育地地図を作成することを目指して、基礎的なスズタケの分布調査および生育環境調査を行った。

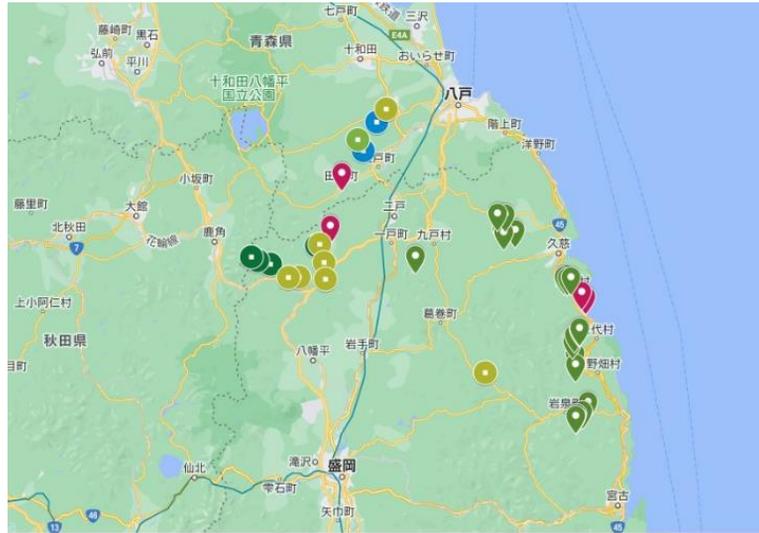
▼研究方法

1. ヒアリング調査

スズタケの分布に関する情報収集（3名）

2. ササ類分布調査

- 1) ササに関する情報（ササの種類・生残率・稈の高さ・おおよその広がり）
- 2) 現地の環境（斜面向き・斜面位置・傾斜角度・標高・周辺植生など）
- 3) 調査範囲：岩手県北部・青森県南部
- 4) 調査時期：2021年5月～2022年2月



📍 : スズタケ（緑：生存、赤：枯死） 🟡 : その他のササ類（濃い緑：チシマザサ、緑：クマイザサ、青：その他）

図1（上図）

岩手県北部のササ類分布図

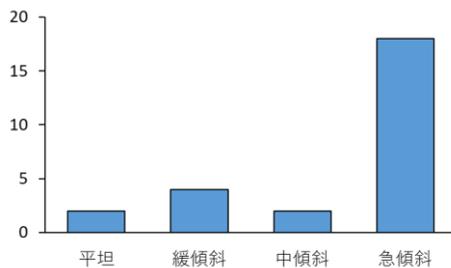


図2（左図）

スズタケ生育地点の傾斜角度

▼研究の成果

1. 岩手県太平洋側北部には生存個体が分布することがわかった（図1）。
2. スズタケの分布に影響を与えている要因は、積雪量（積雪が少ない）・傾斜角度（急傾斜地。図2）・斜面位置（斜面下部）であると考えられる。



写真1

スズタケ枯死の様子

▼おわりに

1. 今回の調査結果を用いてスズタケの生育地予測モデルおよび潜在生育地地図を作成することが可能となった。潜在生育地地図を作成したのち、その検証を行うことが、今後の課題である。
2. 今後、作成された潜在生育地地図の検証を行っていき、精度を高くすることが残された課題である。
3. 調査実施にあたり、ご協力いただいた鳥越竹細工産地を守る会の鈴木隆氏ほかスズタケ分布情報をいただいたお二方に感謝申し上げます。